

## 2010年度 出版助成図書



### 日本中世の村落・女性・社会

田端 泰子 著

吉川弘文館（2011/02/01 出版）

A5判/320,6頁

ISBN 9784642028950

¥9,500（税別）

<目次>

序章 村落史・女性史研究を基軸にした社会史研究へ

第一部 政治形態の変遷と在地社会

第一章 室町前期の半済－応安令の成立過程と在地の動向

第二章 半済武家地の成立と展開

第三章 戦国期山城の村落と権力－五分一済・半済・兵糧料所の設置

第四章 中世後期畿内土豪の存在形態－革島氏・寒川氏を中心に

第二部 中世女性の生活とジェンダー

第一章 日本中世の出産の光景と病の看護

第二章 『天正狂言本』の中世的様相と女性ジェンダー

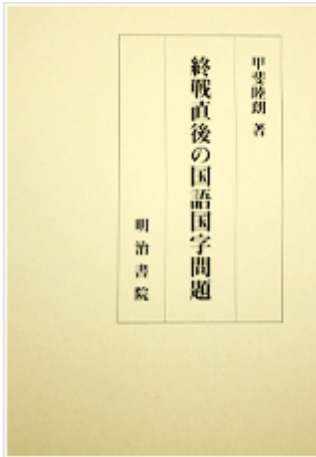
第三章 中世の坐態からみた衣と住－肖像画・風俗画・故実書を素材として

第三部 戦国期～織豊政権期の社会と女性の役割

第一章 豊臣政権の人質・人質政策と北政所

第二章 「大坂冬・夏の陣」に収斂する淀殿の役割

第三章 春日局に見る乳母役割の変質



## 終戦直後の国語国字問題

甲斐 睦朗 著

明治書院 (2011/03/30 出版)

A5判/404頁

ISBN 9784625434273

¥8,000 (税別)

<目次>

- 第一章 標準漢字表から当用漢字表へ
- 第二章 戦時中・終戦直後の国語力
- 第三章 日本人の読み書き能力
- 第四章 国字ローマ字化運動と現代仮名遣い
- 第五章 国語問題と国立国語研究所



## 成熟社会における人権、道徳、民主主義

碓井 敏正 著

文理閣 (2010/12/15 出版)

B6 判/204 頁

ISBN 9784-892596414

¥1,700 (税別)

<目次>

### 第Ⅰ部 成熟社会とその課題

- 第1章 成長社会から成熟社会へー市場・市民社会・人間
- 第2章 市民社会の成熟と非営利・協同組織
- 第3章 成熟社会における正義
- 第4章 市民社会の成熟と社会主義ーマルクス学徒の総括
- 第5章 市民社会の成熟と裁判員制度
- 第6章 市民社会の成熟と道徳教育の可能性

### 第Ⅱ部 成熟社会における権利と倫理

- 第7章 企業倫理から組織倫理へー悪いのは企業だけではない
- 第8章 生命倫理と自己決定権
- 第9章 温暖化問題と環境的正義
- 第10章 人権の普遍性とその多元的展開
- 第11章 成熟社会における文化権
- 第12章 権利と義務に関する断章



## 近代日本と地域振興－京都府の近代

高久 嶺之介 著

思文閣出版（2011/03/25 出版）

A5判／347,7 頁

ISBN 9784784215706

¥6,500（税別）

<目次>

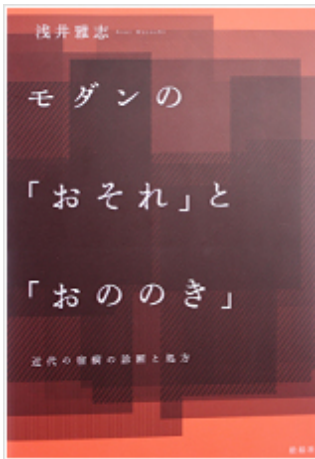
序章 本書で何を明らかにするのか

第一章 車道時代の到来－京都宮津間車道開鑿工事

第二章 琵琶湖疏水工事の時代

第三章 天橋立の近代－景観保存と地域振興

第四章 開拓村の近代－京都府相楽郡童仙房村の軌跡



## モダンの「おそれ」と「おののき」－近代の宿痾の診断と処方

浅井 雅志 著

松柏社 (2011/03 出版)

A5判/832頁

ISBN 9784775401750

¥7,200 (税別)

<目次>

### 第一部 近代の宿痾の兆候と診断

- 第一章 「時代の病」の表象
- 第二章 存在の充溢をめざして
- 第三章 意味の奪還
- 第四章 聖性の奪還

### 第二部

- 第五章 裏切られた肉体
- 第六章 自意識と「運命」
- 第七章 二つのイエス像
- 第八章 トリスタンとシーグマンド

### 第三部

- 第九章 「四次元」のヴィジョン
- 第一〇章 ロレンス対プラトン
- 第十一章 「自発性」という名のカルト
- 第一二章 「深淵への漂流」
- 第十三章 「私」とは誰か？あるいは、「私」とは何か？
- 第十四章 ロレンス、グルジェフ、ウィルソン

## 第四部

第一五章 追い詰められる日本語

付論 日本語は亡びるのか、亡びないのか

第一六章 「論理」の両刃

第一七章 外への眼差し、内への眼差し

第一八章 「花」と“flower”

第一九章 イェイツの見る「西」と「東」

## 第五部

第二〇章 引き裂かれた聖霊

第二一章 ソラリスムの行方

第二二章 死への眼差し



## 異文化交流史の再検討－日本近代の「経験」とその周辺

ひろた まさき／横田 冬彦 編著

平凡社（2011/05/31 出版）

B6判／421 頁

ISBN 9784582835069

¥3,800（税別）

<目次>

### 第一部 〈境界〉を越える

混血児追放令と異人遊郭の成立－「鎖国」における「人種主義」再考	横田 冬彦
ヴィクトリアンレディと幕末・明治期の日本－女性旅行者が見た「変わりつつある日本」	松浦 京子
明治前期の京都とイギリス皇族－一八八一年の異文化交流	高久 嶺之介
キリスト教と近代中国社会－魂の救済から社会の救済へ	蒲 豊彦
異文化を越えた飲み物－ヨーロッパへのコーヒーの伝来と定着	南 直人

### 第二部 文化イメージの交錯

「朝鮮人来朝図」の図像学	ロナルド・トビ
近世の文人と異国	有坂 道子
夢野久作『ドグラ・マグラ』と楊貴妃漂着伝説－その背景の中世史	細川 涼一
「きもの」というファッション－消費文化のなかの「伝統」	河原 和枝
宝塚歌劇と異文化交流	ひろた まさき